

2月18日(木) 18:30~

会場：Zoom 及び国労会館大会議室



第155回定例研究会

誰でも参加できます

Zoomで参加の方は
前日までに連絡ください

日中韓の大学間交流による 学生の対外意識の変化

報告：杉村 豪一 氏

(常葉大学法学部 講師)

これからの企画

◆「春のシンポジウム」

日時…3月27日(土) 13:30~

場所…静岡労政会館展示室&Zoom

内容…「表現の自由と多文化社会」

志田 陽子 氏

◆第156回定例研究会

日時…4月15日(木) 18:30~

場所…国労会館会議室&Zoom

内容…「強い地元企業の
人事戦略に迫る」

鈴木 章浩 氏

留学経験は対外意識を好意的に

中国や韓国との国家間関係が冷え込む中で、近年注目を集めているのが「留学」である。留学経験は学生の対外意識を好意的なものに変え、市民レベルでの日中間、日韓間の相互理解を促進するものであると考えられている。こうしたことから、次世代を担う若者を海外の大学に送ることは将来の国際関係に対する一種の「投資」であるともいえる。そこで、この報告では日中韓3か国間の学生の往来が、彼らの対外意識に与える影響を検討する。報告では、日中韓の大学間交流プログラムである「キャンパス・アジア」への参加者を対象に行ったアンケート調査の結果を取り上げる。この結果からは、「留学」が学生の対外意識に対しポジティブな影響を与えることが確認できよう。

※連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階(静岡県評内)

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>